

# 会 議 録

会議の名称	那珂川市子育て支援推進協議会		
開催日時	令和3年9月24日(金) 午後2時～	開催場所	勤労青少年ホーム 2階 会議室1・2
出席者	<u>1 委員</u> 秋峯会長、飯田副会長、江島委員、大谷委員、萬委員、唐崎委員、 佐藤委員、加峰委員、真鍋委員 <u>2 市(事務局)</u> 大倉野健康福祉部長、入江子育て支援課長、植崎係長、吉牟田 <u>3 市(那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議事務局)</u> 古屋こども応援課長、渡邊係長		
配布資料	■資料1-1：那珂川市子育て支援推進協議会委員名簿 ■資料1-2：那珂川市子育て支援推進協議会の概要 ■資料1-3：那珂川市子育て支援推進協議会設置条例 ■資料2-1：那珂川市認可保育施設等 入所児童数一覧(令和3年4月1日現在) ■資料2-2：那珂川市次世代育成支援地域行動計画 抜粋(P57～P60) ■資料2-3：那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議の概要 ■資料2-4：那珂川市子どもの権利条例		
<u>1 健康福祉部長あいさつ</u>  <u>2 会長あいさつ</u>  <u>3 委員紹介・事務局紹介及び子育て支援推進協議会についての説明</u>  事務局より、■資料1-1を用いて委員各位の紹介を行った。 また、■資料1-2及び■資料1-3を用いて子育て支援推進協議会について説明した。  <u>4 報告</u> <u>(1) 認可保育施設等の入所状況等について</u>  事務局より、■資料2-1及び■資料2-2を用いて説明した。概要は、次のとおり。  《概要》 令和3年4月より、中央保育所は新しい建物において運営しており、定員も190名から200名に増員している。 令和3年4月1日時点における各施設の入所状況は、■資料2-1のとおりであり、那珂川市には4名の待機児童がいた。 しかしながら、令和4年度には、■資料2-2(P7の「■2022(R4)年度」)にある			

とおり、市全域における「②確保方策の合計」が「①量の見込み」を上回ることとなり、待機児童は発生しない予定である。

このことは、今年度中に南畑幼稚園及び岩戸北幼稚園を民間移譲し、令和4年度から新たな2つの幼保連携型認定こども園としての運営が開始されることによるものである。

## (2)「那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議」について

こども応援課（那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議事務局）より、■2-3及び■資料2-4、子どもの権利条例パンフレットを用いて説明した。概要は、次のとおり。

### 《概要》

那珂川市は、令和3年4月に那珂川市子どもの権利条例を施行した。

那珂川市子どもの権利条例では、「子どもにとって大切な4つの権利（安心して生きる権利、自分らしく生きる権利、心豊かに育つ権利、意見を表明し参加する権利）」

「子どもの権利の保障」「子どもにやさしいまちづくりの推進」などについて定めている。

那珂川市子どもの権利条例の規定に基づき、令和3年9月27日より、那珂川市子育て支援推進協議会の機能は、発展的に那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議に移管される。

那珂川市子育て支援推進協議会において議論していただきながら策定した那珂川市次世代育成支援地域行動計画に関して、令和7年度から開始となる次期計画については、那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議において議論して策定していくこととなる。

## (3) 質疑応答

委員：那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議において、令和7年度から開始予定の次期那珂川市次世代育成支援地域行動計画を策定していく際には、現在の計画を踏まえながら策定していくことになるのか。

事務局：那珂川市子どもの権利条例を柱とし、改めて市の事業などについて検討し、策定していくように考えている。

委員：■資料2-2のP8「③確保内容について」「■1号認定の確保内容」中にある「令和4年度に一時預かりの無い市立幼稚園3園のうち2園を私立の幼保連携型認定こども園へ移行することで、教育・保育の提供量を適正化していきます。」という表記について、表現を改めていただきたい。

事務局：次期計画策定時に留意する。

## 5 その他

会長：本協議会が発足してから、ここにいる委員各位をはじめ、多くの方々のお力添えによって、那珂川市の子育て支援施策が推進されてきた。

子育て支援においては、ハード面の充実も重要だが、最も重要なことは人的環境の充実であると考え。学校をはじめ家庭や地域など子育てに関する場面は様々あるが、今あるハードを人がどう活かしていくかが重要である。

那珂川市子どもの権利条例に関して、このような条例を制定している自治体は、全国的にも多くはなく、那珂川市の特色の一つである。

新しく発足する那珂川市子どもにやさしいまちづくり推進会議においては、以上のことを踏まえながら、さらなる子育て支援施策の充実を図っていただきたい。

以上